

入研協の沿革

- 昭和42年 4月 各国立大学における入学者選抜方法の改善に関する調査研究を推進するため、文部省は研究費を初めて予算化し、8大学に研究委員会が設置され、以降順次増加した。
- 昭和46年 7月 文部省主催の第1回入学者選抜方法研究委員会設置大学連絡会議が開催され、各大学における研究状況等について、連絡協議が行われた。
- 昭和52年 5月 共通第1次学力試験の実施に関する業務を行うとともに入学者選抜方法の改善に関する調査研究を行う機関として、大学入試センターが設置された。
- 昭和54年11月 文部省主催の国立大学入学者選抜方法研究委員会連絡協議会が開催され、大学側が主体的に運営する連絡協議会の設立について提案があり、設立準備委員会が設置された。
- 昭和54年12月 国立大学協会第2常置委員会において、国立大学入学者選抜研究連絡協議会（仮称）の設立が了承された。
- 昭和55年 2月 設立準備委員会は、国立大学入学者選抜研究連絡協議会（仮称）の設立に関し、各大学にアンケート調査を行った。
- 昭和55年 6月 国立大学入学者選抜研究連絡協議会の設立総会が開催され、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会及び大学入試センター研究部を会員とする本協議会が発足した。会長に肥田野直（東京大学）が就任し、事務局は、大学入試センター内（庶務課）に置かれた。
- 昭和55年 8月 入研協ニュース№1を発行した。
- 昭和55年 9月 近畿地区協議会が発足した。
- 昭和55年11月 第1回研究発表会（公開パネル、研究分科会）を開催した。
- 昭和56年 3月 国立大学入学者選抜研究連絡協議会研究報告書第1号を発行した。
- 昭和56年 6月 第2回総会及び研究発表会を開催した。
資料の交流及び公開を促進するため、資料交流検討委員会を設置した。
- 昭和56年 9月 関東甲信越地区協議会が発足した。
- 昭和57年 5月 中部地区協議会が発足した。
- 昭和57年 6月 第3回総会及び研究発表会を開催した。
- 昭和57年 7月 九州地区協議会が発足した。